

■コメント

1. インフルエンザ

18人(定点当たり0.50人)の報告があり、前週の2倍に増加しています。

過去の動向を見ると、1～2週間のうちにも流行開始の目安である定点当たり1.0人を超えると予測されます。

2. 感染性胃腸炎

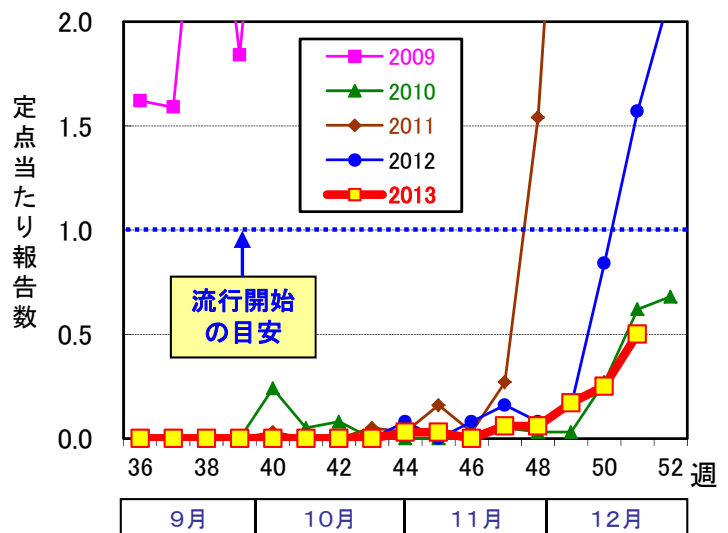
定点当たり15.7人と、多い状態が続いています。例年冬季は、ノロウイルスなどウイルス性の感染性胃腸炎が多くなります。

3. RSウイルス感染症

定点当たり1.17人と、2週続けて増加しており、これから最も流行する時期を迎えます。

年末年始は、帰省や初詣などで混雑する場所へ出かけることが多くなりますので、体調管理に注意するとともに、手洗いなどの感染症予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	18	0.50	5.80	↑	流行性耳下腺炎	15	0.65	0.54	→
咽頭結膜熱	34	1.48	0.23	→	RSウイルス感染症	27	1.17	1.18	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.43	1.33	↔	急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	360	15.65	16.23	→	流行性角結膜炎	5	0.63	0.35	
水痘	37	1.61	2.30	↔	細菌性髄膜炎	-	-	-	
手足口病	-	-	0.12		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
伝染性紅斑	-	-	0.10		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.43	
突発性発しん	15	0.65	0.47		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	
百日咳	-	-	0.17		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-		
ヘルパンギーナ	-	-	0.01						

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↔ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	7	192	女性(30歳代)・1人、男性(70歳代)・2人、女性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・2人
5	後天性免疫不全症候群	2	25	男性(20歳代)・感染者、男性(40歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第47週	2	25	24	162	28	1	-	15	-	3	9	17	-	6	-	2	1	-	-
		第48週	2	26	28	215	47	4	1	7	-	2	12	18	-	3	-	-	-	-	-
		第49週	6	27	29	316	37	4	-	9	-	-	13	9	2	5	-	1	-	-	-
		第50週	9	31	41	346	55	3	-	13	-	1	14	17	-	1	-	2	3	-	1
		第51週	18	34	33	360	37	-	-	15	-	-	15	27	-	5	-	1	1	-	-
定点当たり	広島市	第47週	0.06	1.09	1.04	7.04	1.22	0.04	-	0.65	-	0.13	0.39	0.74	-	0.75	-	0.29	0.14	-	-
		第48週	0.06	1.13	1.22	9.35	2.04	0.17	0.04	0.30	-	0.09	0.52	0.78	-	0.38	-	-	-	-	-
		第49週	0.17	1.17	1.26	13.74	1.61	0.17	-	0.39	-	-	0.57	0.39	0.25	0.63	-	0.14	-	-	-
		第50週	0.25	1.35	1.78	15.04	2.39	0.13	-	0.57	-	0.04	0.61	0.74	-	0.13	-	0.29	0.43	-	0.14
		第51週	0.50	1.48	1.43	15.65	1.61	-	-	0.65	-	-	0.65	1.17	-	0.63	-	0.14	0.14	-	-
	全国	第49週	0.67	0.66	2.08	13.11	1.69	0.47	0.08	0.53	0.01	0.05	0.29	1.39	0.02	0.56	0.01	0.04	0.36	0.02	0.04
		第50週	0.82	0.73	2.28	15.92	1.85	0.41	0.09	0.50	0.01	0.04	0.26	1.39	0.02	0.67	0.02	0.03	0.39	0.02	0.04

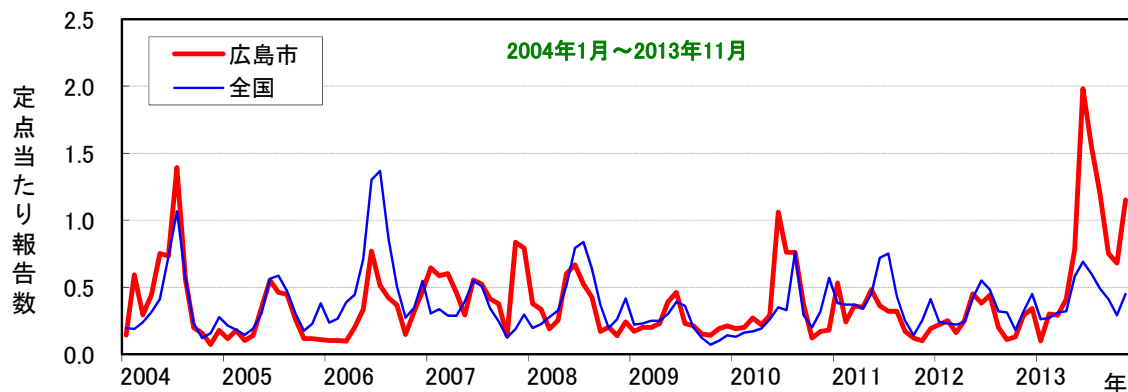
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	髄膜炎	11	男	2013/11/13	髄液	エコーウイルス30型
無菌性髄膜炎	発熱(38.6) 髄膜炎 熱性痙攣	5	不詳	2013/10/11	咽頭拭い液	EBウイルス
その他の消化器疾患	血便 嘔吐 嘔き気	4	女	2013/11/13	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(39.0) 熱性痙攣	0	男	2013/11/16	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における咽頭結膜熱の最近10年間の発生動向 (2013年11月まで)



咽頭結膜熱(プール熱)は、アデノウイルス(主に3型)によるウイルス性の感染症で、発熱・咽頭炎(のどの痛み)・結膜炎が主な症状です。プールで感染すること多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。通常は6～8月の夏季に流行しますが、最近では冬季にも流行が見られるようになっていきます。

広島市では、今年は最近10年間で最も報告数が多くなっており、現在も増加傾向にあることから、注意が必要です。手洗い・うがいの励行、タオルの共用をしないなど、感染予防を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第51週(12月16日～12月22日)